

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	子ども、高齢者の居場所事業
2 実施期間	令和4年 8月 ~ 令和5年 2月
3 事業内容	<p>①具体的な実施内容（対象者や実施場所、何をいつ実施したかなど）</p> <p>8/19（金）団地内グラウンド ラジオ体操参加の子どもへお菓子を配る（15人） 8/27（土）集会所 ハンバーグ弁当 200食 配布（宅食9世帯） 9/24（土）集会所 魚フライ弁当 200食 配布（宅食11世帯） 10/22（土）集会所 ハロウィン弁当 200食 配布（宅食15世帯） 11/26（土）集会所 炊き込みご飯、豚汁 200食 配布（宅食16世帯） 12/24（土）集会所 クリスマス弁当 200食 配布（宅食16世帯） 1/8（日）団地グラウンドこども交流広場「親子でバルーンアート」でお菓子を配る（40人） 1/28（土）集会所 ショウガ焼き弁当 200食 配布（宅食16世帯） 2/25（土）集会所 ちらし寿司弁当 200食 配布（宅食16世帯）</p> <p>②事業の周知方法</p> <ul style="list-style-type: none">・団地内掲示板（6か所）階段（6か所）へ毎回ポスター・団地内戸別にチラシ・若狭公民館、近隣自治会、地域包括支援センターなどへお知らせ・県社協、那覇市社協の「糸」子どもの居場所ネットワーク登録
4 事業実施における数値目標 (中間報告書で示した数値)	毎回200食を作り配布
5 上記4の数値目標の達成度	95%
6 事業の成果	<p>(対象や地域、社会にどう貢献したかなど)</p> <ul style="list-style-type: none">・お隣同士やディサービス、サークルのメンバー等が誘い合ったり、挨拶や会話が増え、より交流が深まる。・給食のない日なので児童、生徒へのランチは喜ばれる（親も子も）・続いていると利用した側からボランティア側に参加する人も増えた。「私にできる事は？」と利用者から声を掛けられ、利用するだけではなく手伝いたいという意識を感じた。・外出歩行困難者のいる世帯を知ることができ、宅食して見守り活動で地域に貢献している。

7 評価	<p>① 良かった点、工夫したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回開催できてよかったです。 ・スタッフ確保のため、団地おやじ会やサークル、近隣自治会食堂、職場の同僚、社協のメンバー等へ声掛けして手伝ってもらいました。 ・チラシやポスターの他、団地内の放送でも呼びかけた。 ・運営資金にしてと協力金を寄せたり、食材などの差し入れや、アルミ缶を収集したりと継続的に関わるようになり、地域のつながりを強めました。 <p>② 苦労したこと、改善点、今後に活かしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは200食分の食材の量が把握しにくかったです。毎回の記録を参考にしたい。 ・スタッフの確保、連絡網の作成（参加不可の連絡を早く把握） ・コンロの台数を増やして調理の作業効率を上げた。 ・子供たちの参加をもっと増やしたい。
8 今後の展開 (継続、内容変更、終了など)	今後も子どもや高齢者が喜んで参加できる居場所となるように継続していきたい。
9 その他の意見、感想など	<p>弁当配布の行列などを見て「本当に困っている人の所には届いていないのではないか」と意見する人も。</p> <p>逆に困窮者のみを対象にしたら参加しづらくなると思うので誰でも利用できるようにしたい。</p>
10 事業実施に関して協力（連携）した行政機関・他団体の有無。該当する箇所に☑等を記入してください。）、協力の内容について記入してください。 行政の協力（□企画立案に協力 □資金提供 □告知などの協力 □その他（ ）） 他団体の協力（□企画立案に協力 □資金提供 □告知などの協力 ☑その他（ 食材や物資などの寄贈、ボランティア作業への協力）） □ 無し 行政や他団体への今後の連携についての期待・要望など 〔 他団体、居場所などの繋がり、協力関係を作つて欲しい。 情報の共有。 〕	